

学長式辞

佐々木 重人

本日、専修大学の学部・大学院・法科大学院それぞれの課程を修了し、学位を取得された皆さん、ご卒業おめでとうございます。これまで学内外での感染防止対策にご協力をいただきましたことに、深く感謝します。

学部卒業生の皆さんは、本学に入学した2019年度からの4年間を、どのように振り返っているでしょうか。経営学部ビジネスデザイン学科と文学部ジャーナリズム学科がスタートした年度でもあり、本日は、両学科第一期生の卒業式でもあります。

しかし、コロナの影響から20年度前期は、原則すべてオンライン授業に切り替えました。感染防止対策のもと、対面授業の割合を徐々に増やした21年度、22年度。この間、期せずして皆さんは、対面授業の重要性を体感しつつ、オンラインスキルを縦横に駆使していました。今後皆さんは、いわば「オンラインネイティブ」として、デジタルデバイスを自然に操り、自由な発想で新たな価値を産み出すことのできる世代となる予感があります。ぜひ、苦しめたコロナ危機を乗り越えた自分自身を肯定してもらいた

自由な発想で新たな価値を創出

19年度の皆さんの入学式で、私は二つのお願いを申し上げました。第一は、自分のライバルは、他人ではなく、自分自身であり、4年後に改めてみたい自分となるために懸命に努力し、少しずつ成功体験を積み上げてほしいと述べました。このことは、これからの人生においても変わらないと肝に銘じてほしいと思います。

二つ目に、いわゆるソサエティ5.0で、皆さんが本学で身につけた専門知識や技能を活かすためのスキルといえるデータサイエンスを積極的に学ぶよう勧めました。ぜひ、本学で学んだことにプライドを持って、堂々と楽しく人生を歩んでください。

また、本年度をもって二部経済学部、法学部、商学部をご卒業される皆さんに一言申し上げます。今年、最後の学生募集で入学された多くの皆さんが卒業されます。二部教育のレガシーは、今後とも本学の教育目標に受け継がれ、活かされていくことでしょう。過日、二部学生会から、学生会費の残額がすべて本学に寄付されました。この場を借りて、あらためてお礼を申し上げます。

最後に、SDGs目標16は、「平和と公正をすべての人に」。一日も早く、ウクライナに平和が戻ることを祈りつつ、学長式辞といたします。

(要旨)



祝 卒業・修了



総長祝辞

日高 義博

学部を卒業される皆さん、大学院を修了される皆さん、心からお祝い申し上げます。大変な状況のなかで大学の

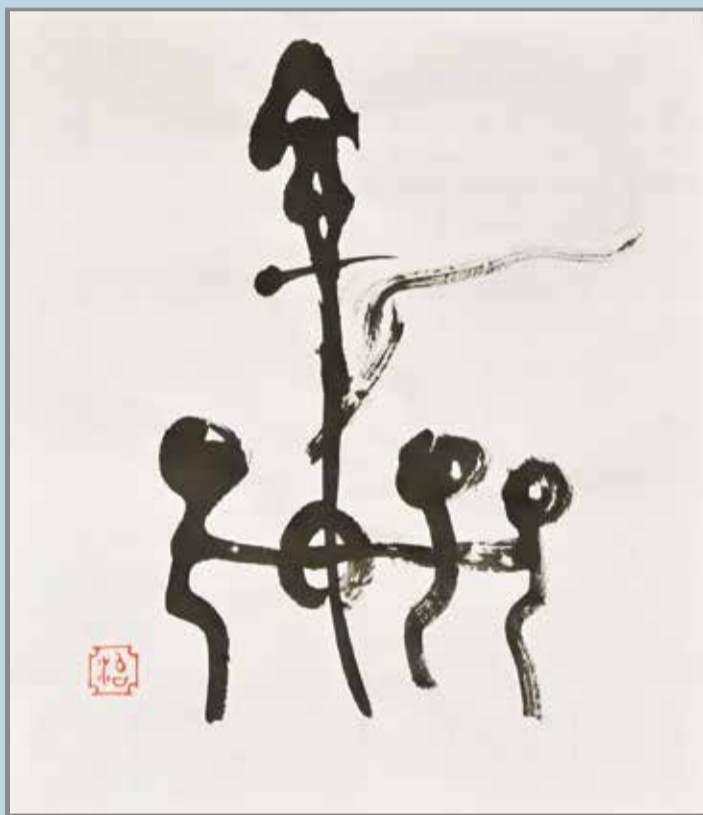
運営等にご支援、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。心の中を申し上げます。千鳥ヶ淵の桜も満開に近い状態で、皆さんの門出を祝っています。皆さんが過ごした大学生活はコロナ禍

学で取得すべきものはそれだけではありません。単位評価にならないものが極めて重要です。先生との対話によって得た人生観や世界観、仲間との交流のなかで得た人間の生き方が大学教育の付加価値です。

コロナ禍にあって、それらを体得することが困難な局面が多々あったかと思いますが、皆さんは逆境にめげることなく、それぞれ工夫を凝らして将来の足場を築き、晴れて学窓を飛び立つ日を迎えました。在学中に得た考える力や磨いた人

専修人の自覚持ち奮闘を

かで折々に示したサムライスピリッツは、学生そして卒業生に染み込み、学風として生きています。専修人には逆境を乗り越える気骨とほねがあり、かつ、凛として生きる気構えがあります。学窓を飛び立つ後も、専修人として自覚を持ち、社会のさまざまな分野で活躍されることを期待しています。卒業生が社会のなかにおいて社会に立つ気構えを持って、本学の21世紀ビジョン「社会知性の開発」の一翼を担うならば、校歌にあるごとく「我等が行く手は光に充てり」となるでしょう。皆さんの奮闘を切に願ひ、総長の祝辞とします。(要旨)



旅 揮毫 松尾 治 文学部准教授(書家)

これまでコロナ禍で思うような活動ができない学生生活を強いられることもあったでしょう。しかし、これからも人生の旅は続きます。皆さんの飛躍を心からご期待申し上げます。「旅」字は同志とスクラムを組み旗を掲げて進んでいく図象(会意文字)に由来しています。

卒業生並びに修了生の皆さん、本日は誠におめでとうございませう。ご家族の皆様も大変お喜びのことと存じます。また、これまでご指導、ご支援をいただきまして、先生方、職員の方々、校友、育友の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

さて、現代の世界的規模での政治、経済、軍事等の混乱、自然環境の破壊が人類にもたらす深刻な影響に対し、私たちは冷静な解決能力や知恵、そして何より困難に立ち向かう勇気が試

さされています。今般の新型コロナウイルスの感染拡大が社会に与えた衝撃は計り知れませんが、皆さんも描いていた学生生活に大きな影響が生じたと思えます。大学では、授業、学生支援サービスが急遽

将来の予測が困難な時代に、そして社会、地域、企業活動等のポータルレス化が加速した今こそ、皆さんが飛躍、活躍する好機と捉



理事長祝辞

松木 健一

卒業生並びに修了生の皆さん、本日は誠におめでとうございませう。ご家族の皆様も大変お喜びのことと存じます。また、これまでご指導、ご支援をいただきまして、先生方、職員の方々、校友、育友の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

さて、現代の世界的規模での政治、経済、軍事等の混乱、自然環境の破壊が人類にもたらす深刻な影響に対し、私たちは冷静な解決能力や知恵、そして何より困難に立ち向かう勇気が試

さされています。今般の新型コロナウイルスの感染拡大が社会に与えた衝撃は計り知れませんが、皆さんも描いていた学生生活に大きな影響が生じたと思えます。大学では、授業、学生支援サービスが急遽

挑戦する姿勢が成長導く

卒業、修了後、それぞれに歩む道は異なりますが、学び続ける姿勢を持ち続け、いかなる困難も乗り越える気概と人間の尊厳を忘れることなく、人間性あふれる心豊かな専修人としての人生を歩まれることを切に願ひます。(要旨)